

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 177

| | | | | | |
|------|-----------|-----|--------------------|------|--------|
| 所管部局 | 福祉部 | 所管課 | 社会福祉課 | 担当者名 | 勝山 万里恵 |
| 事業名 | 福祉団体等補助事業 | | | 事業分類 | ソフト事業 |
| 細事業名 | 福祉団体等補助事業 | | | 政策体系 | 148 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 3.民生 - 1.社会 - 1.社会 | | |

1. 事業の概要

福祉意識の高揚と地域福祉の活性化を推進するため、事業実施した団体に対し補助金を交付した。
やぎ・ふれあいふくしまつりの開催。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

福祉意識の高揚と地域福祉の活性化を推進するための事業

②事業を実施する必要性

上記の目的をもって開催される各事業の円滑な実施のために、今後も支援する必要がある。

3. 事業費の推移

| | | 単位 | 平18決算 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22予算 | 平23計画 | 平24計画 |
|-------------------------|----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額 | | 千円 | 406 | 600 | 600 | 500 | 600 | 600 | 600 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 406 | 600 | 600 | 500 | 600 | 600 | 600 |
| 職員等の従事人員 | | 人/年 | — | — | 0.25 | 0.05 | | | |
| 人件費 | | 千円 | — | — | 1,883 | 384 | | | |
| 事業費総額 | | 千円 | — | — | 2,483 | 884 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

南丹市やぎ・ふれあいふくしまつり健康づくり大会助成金 500,000円
(同大会実行委員会主催)

5. 事業結果の概要

南丹市やぎ・ふれあいふくしまつり健康づくり大会の開催

6. 活動の詳細

| 活 動 内 容 | 活動日又は時期 | 活 動 結 果 等 |
|---|-------------|-------------|
| (1) 補助金交付 | | |
| 『南丹市やぎ・ふれあいふくしまつり健康づくり大会』 舞台発表、体験コーナー、展示・販売コーナー、 模擬店、相談コーナー、体力年齢測定コーナー他 | 平成21年10月17日 | 参加者 約1,600人 |

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

| |
|--|
| 福祉意識の高揚と地域福祉の活性化につながる事業であるかについて議論した。 あらゆる機関・団体が参加した、実行委員会が主催する取り組みである。 今後も継続が必要な事業である。 |
|--|

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

| |
|--|
| ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点 補助事業の内容を把握し、適正な補助の執行に向けて議論した。 ②当該事業のアピール事項 あらゆる機関・団体が参加した実行委員会が主催する取り組みである。 老人福祉施設の協力を経て実施される取り組みである。 ③反省点、今後の展開・方向性等 福祉に対する意識の高揚と地域福祉の活性化を図るための事業として、事業内容を把握しながら実施する。 |
|--|